

定 例 教 育 委 員 会 次 第

令和 8 年 9 月 24 日（木曜日）

14 時 00 分～

1 開 会

2 前回議事録の承認

3 事務局報告（公開）

（1）令和 9 年度佐賀県公立学校教員採用選考試験の結果について

（教職員課）

（2）第 3 6 回全国産業教育フェア佐賀大会 各種競技大会 佐賀県代表校について

（学校教育課）

（3）令和 8 年度九州中学校体育大会（結果）について

（保健体育課）

（4）令和 8 年度全国中学校体育大会（結果）について

（保健体育課）

（5）令和 8 年度全国高等学校総合体育大会（結果）について

（保健体育課）

（6）SAGA BUKATSU PROJECT 全国大会（スポーツ）上位入賞者等 知事報告会

（保健体育課）

（7）次回定例教育委員会について

令和 8 年 10 月 22 日（木）10 時 00 分～

（教育総務課）

4 議事（非公開）

付議第 17 号議案

佐賀県教育委員会表彰の被表彰者について

（教育総務課）

5 閉会

定 例 教 育 委 員 会 議 事 録 （ 案 ）

- 1 期 日 令和 8 年 8 月 21 日（金曜日）
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 参集者 甲斐教育長、加藤委員、飯盛（清）委員、飯盛（裕）委員、荒木委員、溝上委員、笹谷副教育長、横田副教育長、水町教育危機管理・広報総括監、前山政策企画監、本多教育総務課長、河野特別支援教育室長、野口教職員課長、山崎学校教育課長、高山生徒支援室長、柿原保健体育課長 ほか

4 会議次第 別紙のとおり

5 会議の経過

(1) 開 会 14 時 00 分

(2) 前回議事録の承認

このことについて、甲斐教育長は会議に諮り、委員会は承認した。

(3) 議事

【付第 9 号議案】

令和 9 年度佐賀県立特別支援学校幼稚部、高等部及び専攻科入学者募集要項について
このことについて、議案書により河野特別支援教育室長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

（河野特別支援教育室長）

資料 9-1 をご覧いただきたい。令和 9 年度佐賀県立特別支援学校幼稚部、高等部及び専攻科入学者募集要項について説明する。県立特別支援学校の高等部等、いわゆる義務教育段階ではない入学者募集についてであるが、まず、高等部及び専攻科については、障害のある生徒の社会的自立を最大限実現するという視点に立ち、卒業後の社会生活に必要な力を培う教育の場を保障する必要があること。また、幼稚部については、視覚障害や聴覚障害のある幼児に対し、早期からの専門的な教育を行うことが障害による困難の改善・克服に極めて有効であることから、毎年度この時期に募集要項を制定し、県内の中学校等に周知を図り、次年度の入学者募集が円滑に実施できるようにしているところである。

資料 9-2 をご覧いただきたい。資料 9-2 から資料 9-4 まででは、令和 8 年度募集と令和 9 年度募集を対比する形で資料を示している。昨年度からの主な変更点を説明すると、資料 9-2 及び資料 9-3 については、令和 8 年 5 月 1 日付で、金立特別支援学校への障害種として知的障害を設置したことに伴い、募集要項内の記載内容を変更している。

金立特別支援学校の知的障害の就学区域として、具体的には、資料 9-4 に記載のとおり

り、金立特別支援学校近隣の 4 小学校区となっている。また、鳥栖特別支援学校の開校に伴い、連絡先として、現在の鳥栖特別支援学校の電話番号に変更している。

主な変更点は以上になる。資料 9-5 から資料 9-42 までは募集要項本体資料である。なお、募集定員については、特別支援学校中学部や市町立中学校の特別支援学級卒業予定者に対する進路希望調査や各県立特別支援学校への入学志願許可願書の提出状況を基に、本年 12 月末までに別途定めることとしており、その際あらためて定例教育委員会に付議する。ご審議をお願いしたい。

【付第 10 号議案】

令和 9 年度使用県立特別支援学校小学部・中学部教科用図書の採択について

このことについて、議案書により河野特別支援教育室長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

（河野特別支援教育室長）

資料 10-1 をご覧いただきたい。令和 9 年度使用県立特別支援学校小学部・中学部教科用図書の採択について説明する。いわゆる義務教育段階の一般図書の採択について説明する。

資料 10-3 をご覧いただきたい。「1 県立特別支援学校教科用図書採択の流れ」は、資料上段の図に示す通りの手順となっている。今回の付議は、枠囲みにありますように、県立特別支援学校の選定結果に基づく、採択に当たる。

次に下の表「2 県立特別支援学校小学部・中学部教科用図書 採択のスケジュール」をご覧いただきたい。本日は、令和 9 年度に小学部・中学部で使用する一般図書の検討結果について報告する。なお、いくつか教科書の区分がある中で、検定済教科書については 4 年間の採択期間中であるため、今年度の採択替えはない。また、著作教科書については、文部科学省が作成しているものであり、引き続き同一の教科書を使用することとしている。このため、本日は毎年度採択することができるとなっている一般図書のみを採択対象としている。

資料 10-4 をご覧いただきたい。各学校における検討委員会委員については別表のとおりである。学習指導要領の内容を十分に踏まえ、各学校で編成された教育課程や児童生徒の実態等に応じて、県教育委員会が示した教科用図書選定の資料等を活用した調査研究の結果を元に、教科用図書検討委員会において公正かつ適正な検討が行われている。

資料 10-5 をご覧いただきたい。参考資料 2 で、一般図書の主な選定理由を示している。どのような図書の中から選定しているかについてであるが、資料 10-8 から資料 10-14 までは示しているとおり、佐賀県教育委員会が作成した「令和 9 年度使用一般図書一覧」となるが、これに記載の図書の中から、各学校の教員が児童生徒の障害の実態等に応じて選定している。これら一般図書の選定理由の詳細については、別冊資料のとおりである。この中の「選定理由」に記載のとおり、各学校でそれぞれの図書について慎重かつ丁寧に調査研究の上、選定している。別冊資料のとおり、各学校で選定された一般図書の具体的な結果を、各学校別・図書別に一覧にまとめたものが資料 10-21 から資料

10-37 までに記載されている表となる。資料 10-21 の盲学校から資料 10-37 鳥栖特別支援学校のまでの順で並べている。以上のことから、各学校における検討及び選定の結果は妥当であると考えているため、採択をお願いする。説明は以上である。ご審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(加藤委員)

盲学校とろう学校に関しては、盲の子たちについても、見える前提で選定されているのかというところを教えてください。

(河野特別支援教育室長)

一般図書は市販されている図書になるため、見えることが前提になるが、盲学校には全盲や弱視の方もいる。資料 10-14 に点字教科書等の記載をしているが、この辺りが弱視及び全盲の方が代わりに使われる教科書になる。指覚を頼りに触れる図書とかもあり、そのような図書も一般図書としては選定されていると考えている。お子さんの実態に応じて、それぞれ選定している。

(飯盛(裕)委員)

最近、小学校や中学校の義務教育でもデジタル教科書が進んでいる。盲学校・ろう学校は少し難しい部分もあるかもしれないが、こういう特別支援学校の教科書も QR コードを読み取れば、デジタルコンテンツが取り込まれているような部分もあるのか。

(河野特別支援教育室長)

今、検定本ではなくて、一般図書のことをご指摘かと思う。全ての一般図書の分を私が見ているわけではないが、これからそういう QR コード付きという図書も出てくる可能性はもちろんあると思う。これは今、市販の教科書が一般図書のリストとして一覧に挙げているので、これからに期待するところである。

(飯盛(清)委員)

通常の学校では、同じ学年で同じ教科書を配っているが、特別支援学校では一人一人の能力が異なるため、例えば資料 10-5 に 3 通り記載されているが、同じ学年にいる生徒が同じ教科書を使うとは限らないと考えてよいのか。

(河野特別支援教育室長)

基本的に障害の実態に応じて、お子さんに応じた教科書を、あるいは評価に応じたものを採択し、選定していくというふうになるため、それは特別支援学校でも、特別支援学級でも言えることである。

【付第 11 号議案】

令和 9 年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項について

このことについて、議案書により山崎学校教育課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(山崎学校教育課長)

資料 11-1 をご覧いただきたい。令和 9 年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項につ

いて説明する。7月の定例教育委員会において、令和9年度佐賀県立高等学校入学者選抜の募集定員が決定したので、本日は、高等学校入学者選抜実施要項について審議をお願いし、了承をいただきたいと考えている。

資料11-2をご覧ください。7月の定例教育委員会でご承認をいただいた令和9年度の募集定員及び募集人員と、過去3年間の経年比較したものは「1 募集定員及び募集人員の変遷」の通りとなっている。また、令和9年度佐賀県立高等学校入学者選抜に係る承認申請については、項目2の通りとなっている。内容については7月にご説明したものから変更はない。

資料11-4・11-5をご覧ください。「3 選抜に係る各種日程等」に、今回の選抜における全体日程、学力検査等の時間割について示している。

資料11-6「4 令和9年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項の主な変更箇所」を御覧いただきたい。主な変更点について、変更箇所の詳細を新旧対照表にまとめているので説明する。別冊11-1をご覧ください。「一般選抜 三養基高等学校帰国・外国人生徒等募集枠」について、「3 申請手続き、海外在住を証明する書類」の留意事項に注意書きを追加している。これまで、海外在住を証明する書類では、主にパスポートの写しで確認を行っていたが、近年出入国の際、自動化ゲートが普及していることに伴い、パスポートに証印がないケースが出てきており、標記のとおり注意書きを追加している。パスポートに証印がない場合は、出入国記録を提出していただくことになるが、取得する場合に1から2か月程度かかる場合があるため、注意書きを追加した。

続いて資料11-6の下段をご覧ください。別冊11-2・11-3記載の出願手続きの、出願書類等の※自己申告書（様式5）について、留意事項に（任意）を追加している。こちらは、一般選抜の出願手続きの出願書類等の※自己申告書と表記を合わせる形で追加している。また、別冊11-5の再募集にかかる出願手続きの、出願書類等の※自己申告書（様式5）についても、一般選抜の出願手続きの出願書類の※自己申告書と合わせる形で、留意事項に（任意）を追加している。

続いて資料11-7をご覧ください。別冊11-6記載の帰国・外国人生徒等入学志願者の取扱い「2 帰国・外国人生徒等の受検資格証明手続き 海外在住を証明する書類」についても、先ほどと同様に、留意事項に注意書きを追加している。

続いて資料11-7の下段をご覧ください。別冊11-7の帰国・外国人等志願者に対する特例措置について、特例措置の内容に、実技検査を追加した。学力検査に加え、特色ある教育課程などの実技検査においては、作文等が行われるが、①実技検査の時間延長措置、②実技検査の問題文等へのふりがなを追加している。なお、資料11-7の下段右側2箇所「令和8年度」ではなく「令和9年度」の間違いであり、修正をお願いする。

資料11-8をご覧ください。別冊P11-8記載の帰国・外国人等志願者に対する特例措置の「3 申請手続き 海外在住を証明する書類」についても、先ほどと同様に、留意事項に注意書きを追加している。

続いて資料11-8の下段をご覧ください。別冊11-10記載の帰国・外国人等志願者に対する特例措置「3 申請手続 出願書類等」の※自己申告書（様式5）についても、一

般選抜の出願手続の出願書類の※自己申告書と合わせる形で、留意事項に（任意）を追加している。

以上が、主な変更点である。なお、他にも細かな文言の追加等があるが、いずれも内容を変更するものではなく、表記・表現などの面で適切な文言に修正をしている。また、細かなミスがないよう、選抜実施要項本体の公表までに再度表現等のチェックをし、県のホームページに公開をしたいと考えている。令和 9 年度高等学校入学者選抜実施要項についての説明は以上となる。御審議をお願いしたい。

【主な質問等】

（飯盛（清）委員）

帰国・外国人生徒募集枠について質問する。帰国生徒についてはイメージしやすいが、外国人生徒については、今年度入学した生徒の具体例を伺いたい。このような疑問を持った背景として、近年、就労を目的として来日する外国人が増加していることから、その子どもが高校進学の時期を迎えている事例もあるのではないかと考えたためである。

（山崎学校教育課長）

外国人ということでは、労働のために入ってこられる方のお子さんがいる。

（飯盛（清）委員）

今もう既にいるという認識でよいか。

（山崎学校教育課長）

そのとおりである。

（溝上委員）

随分増えたと感じている。

（飯盛（裕）委員）

意見ではないが、今週、教育振興課主催の外国籍生徒を対象とした研修会において、ワールドリングの協力のもと、50 人弱の先生方が参加され、学校現場の先生方の関心も年々高まっていると感じた。主宰の松下先生の「誰一人取り残されない」という考え方はすごく大切である。現在は三養基高校に起点を置かれているが、遠くにいる子が同校へ通いづらいことも考えられることから、今後そういう子達に対して、どこの学校で受入れていくのかについても検討・議論が必要になるのではないか。こういう事例を検証し、今後、同様の生徒の増加が見込まれることから、そういう子たちに対処できる体制を県教育委員会でも整備していくことが必要であると、研修を通して感じた。

（荒木委員）

前回の定例教育委員会でもお尋ねしたが、資料 11-2 の特別選抜募集人員が増えているのは、特別選抜募集人員の割合を今後増やしていく方向性なのか。

（山崎学校教育課長）

内訳として人数が増えている。スポーツ推進指定校の方も若干増えているが、文化芸術推進指定校、それから特色ある教育課程、それぞれの学校が独自の色を出すような取組と教育課程等でやっており、その枠を増やしているということになる。

(笹谷副教育長)

令和 10 年度からは、新しい選抜制度に変わる。

(荒木委員)

それを見越して増やしているのか。

(甲斐教育長)

そのとおりである。

【付第 12 号議案】

令和 9 年度県立高等学校及び特別支援学校高等部で使用する教科用図書について

このことについて、議案書により山崎学校教育課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(山崎学校教育課長)

資料 12-1 をご覧いただきたい。令和 9 年度県立高等学校及び特別支援学校高等部で使用する教科用図書について説明する。各学校では、教科用図書検討委員会を校内に設け、教育目標や生徒の実態に即して教科書を選定することとしており、その検討委員会のメンバーには、保護者代表に加え、学校評議員または学校運営協議委員を含めるよう指導しているところである。その結果、各学校で検討され、選定された教科書の一覧を別冊の黒表紙の「令和 9 年度県立学校使用教科用図書検討結果一覧表」としてまとめている。

参考資料 1、資料 12-3 をご覧いただきたい。この「参考資料 1」は、各学校からあげられた教科書選定報告を概要としてまとめたものである。各学校とも、学習指導要領の趣旨及び各教科の「目標」や「内容」を十分に踏まえ、県立高等学校においては、共通教科・科目、専門教科・科目、及び特別支援学校高等部のそれぞれにおいて、各学校の教育目標、教育課程に対応し、生徒の実態や進路に適した教科書を選定している。学校では、各教科の研究員が教科用図書について専門的な観点から調査研究を行い検討している。生徒が一人一台端末を持っていることを踏まえて選定している。各学校では、保護者代表に加え、学校評議員または学校運営協議委員を含む教科用図書検討委員会を設け、公正かつ適正な教科用図書の検討が行われている。

参考資料 2、資料 12-4 をご覧いただきたい。令和 9 年度使用県立高等学校教科用図書検討結果の一部である。これは、各高等学校が選定した教科用図書について検討結果を挙げたものである。各学校の検討結果については、別冊の黒表紙に綴じている。その中から、いくつか紹介する。「国語」について、佐賀西高校では、「現代社会や学問に対する認識を広げるのに適している教材がバランスよく配置されている。評論教材と関連づけて羅生門などの小説教材が採録されているなど、様々な教材を通して論理的な思考力や判断力、表現力を身につけさせることができる構成となっている。」という理由で選定されている。

資料 12-5 をご覧いただきたい。資料の中ほど記載の「外国語（英語）」について、唐津東高校では、「現在の社会情勢を的確にとらえた洗練された題材を扱っており、それらを用いた言語活動も適切に配列されており、生徒の英語力向上に寄与できると判断した。」

ということが選定理由として挙げられている。学習指導要領では、学習内容と日常生活との関連や、育成を目指す資質・能力を明らかにした主体的・対話的で深い学びが重視されている。各学校はそれぞれの教科書を使用することで教科の目標を達成できるようにとの思いをもって選定を行っている。

資料 12-6 をご覧いただきたい。専門学科において開設されている教科の教科用図書の検討結果の一部を載せている。専門科目の教科書は、科目によっては 1 種類しか発行されていない場合も多くみられるが、例えば、「農業」について、佐賀農業高校では、「教材の内容が基礎基本をしっかりとっておさえたいうで、応用・発展と学習の深化が可能となるよう配慮され、脚注が適切で、生徒が理解しやすい。」といったことから選定されている。また、専門の「商業」について、佐賀商業高校では「豊富な図やイラストにより生徒がビジネスの世界をイメージしやすいものとなっている。社会人として身につけなければいけない知識・マナー等の内容が十分に掲載されている。また、確認問題や実技に関する例題、ロールプレイング等も多く、生徒の学習意欲や知的好奇心の向上に繋げることができる。」という理由が挙げられている。専門科目においては、時代の流れにあった専門性を身につけ、実践できるようになることも視野に入れて選定されている。

参考資料 3、資料 12-7 をご覧いただきたい。ここからは特別支援学校高等部の教科用図書検討結果例の一部である。特別支援学校高等部では、「文部科学省検定済教科書」及び「文部科学省著作教科書」など高等学校と同じ教科書を使用する場合もあるが、障害の程度によって検定済教科書の使用が困難な場合は一般図書が使用できる。「検定済教科書」及び「文部科学省著作教科書」の選定結果理由として、例えば、「公民」について、唐津特別支援学校では、「本文が平易で社会の仕組みが理解しやすい。また、資料や写真が充実している。教科書の紙面データ、非収録の写真などもあり、本校生徒の実態に応じた指導に活用しやすい。」という生徒の状況を踏まえた理由により選定されている。

資料 12-8 をご覧いただきたい。資料下段に一般図書の選定結果を載せている。一般図書は、障害等について配慮し、生徒の興味・関心が高まることやわかりやすさの観点から選定されている。例えば、「国語」について、金立特別支援学校では「日常で使用する単語や漢字がイラストと組み合わせて示されており、内容を理解しやすい。また、書き込み欄があり、実際に記入しながら学習をすることができる。」という理由により選定されている。いずれにしても、各学校の教育目標、生徒の障害の程度に応じて、適切な選択がなされているものと判断している。

説明は以上である。なお、教科書見本は教育委員会事務局に保管している。各学校は、その見本から来年度使用教科書を選定している。また、別冊の黒表紙は後ほど回収させていただき、来年度初めに各県税事務所等で開架する。ご審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛(清) 委員)

資料 12-7 に唐津特別支援学校の公民の教科用図書について、「教科書の紙面データ、非収録の写真などもあり」と記載されているが、教科用図書に載っていないものがあるというのは、QR コード等を読み込めば見られるという認識でよいのか。また、これは教科

書の採用理由ということでよいか。

(山崎学校教育課長)

教科用図書の採用理由である。また、最近は実際に教科用図書にデータ等の記載がなく、QR コード等を読み込めば、そのデータが出てくる仕様となっているものもある。

(飯盛(裕) 委員)

教科用図書をじっくり読みたい。自分が学生の時とはだいぶ変わっている。読んでみて、興味をそそられるものが多い。読んでいて生徒が興味をそそられる教科用図書の方が、生徒達の好奇心や学ぶ意欲に繋がると思う。

(溝上委員)

昔からおもしろかったのかもしれないが、だいぶ良くなった印象である。

(山崎学校教育課長)

昔と比べたらだいぶ変わっていると思われる。決められたページ数があるため、先ほどの QR コード等を記載すると制限なく様々な情報を載せることができる。

(飯盛(裕) 委員)

1 人 1 台タブレット端末を配置しているので、動画で見せた方が分かりやすいもの等は、QR コードを読み込んで見せるというのが多い。

(溝上委員)

この科学の教科書も一番最後は「科学が開く未来」というテーマの記載があり、生徒達が興味をそそられる内容で喜んでくれたらいいと思う。

【付第 13 号議案】

佐賀県立学校の管理に関する規則の一部改正について

このことについて、議案書により山崎学校教育課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(山崎学校教育課長)

資料 13-1 をご覧いただきたい。佐賀県立学校の管理に関する規則の一部改正について説明する。資料 13-2 をご覧いただきたい。概要としては、春季休業日の期間を 1 日延長することである。現行では、4 月 1 日から 4 月 5 日までとなっているが、4 月 1 日から同月 6 日までに改正したいと考えている。理由としては、記載しているとおり、新学期の準備期間を十分に確保し、余裕を持って新学期を迎えることができるようにするためである。県立学校において、4 月当初は、職員会議や分掌会議、学年会議などが短期間に集中し、暦の関係上、多い年は 5 営業日、短い年は 3 営業日で新学期の準備を行っている。今年や来年などのように暦の関係上、3 営業日しかない年は、新年度の準備や各種打合せ等の実施に十分な時間を確保できていない状況にある。特に特別支援学校においては、医療的ケアに係る説明会や支援計画作成に係る事前準備など、児童生徒の生命に関わるような重要な会議等が多く、苦慮している。こうした現状を踏まえ、春季休業日を 1 日延長する規則改正を行い、新学期の準備期間に最低でも 4 営業日を確保したいと考えている。

最後に、施行までのスケジュールについては、資料 13-3 をご覧いただきたい。8 月 28 日広報掲載、公布、令和 9 年 4 月 1 日施行予定でいきたいと考えている。佐賀県立学校の管理に関する規則の一部改正についての説明は以上となる。ご審議をお願いしたい。

(4) 事務局報告

① 野口教職員課長は令和 8 年度教育行政職員採用試験の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(野口教職員課長)

資料 1-1 をご覧いただきたい。令和 8 年度教育行政職員採用試験の結果について説明する。佐賀県人事委員会が実施した教育行政職員採用試験のうち、民間型選考枠・スポーツ特別枠が 6 月 17 日、大卒程度と障害者対象が 7 月 31 日に合格発表があったため、概要について説明する。

まず、民間型選考枠とスポーツ特別枠についてである。民間型選考枠は 30 人が受験し、最終合格者数が 9 人、スポーツ特別枠は 3 人が受験し、最終合格者数が 1 人となっている。

大学卒業程度は 16 人が受験し、最終合格者数が 3 人、障害者を対象にした採用試験については、4 人が受験し、最終合格者数が 1 人となっている。

教育行政職員として多様な人材確保のために、今後も引き続き人事委員会と連携しながら、就職ガイダンス等を活用し、積極的に教育行政職の PR を行っていきたいと考えている。

資料 1-2 をご覧いただきたい。今後の教育行政職員の採用試験については、社会人経験枠、そして高校卒業程度の試験がある。社会人経験枠については、現在、一次試験の書類選考中である。二次試験が 10 月、三次試験の 10 月末から 11 月上中旬にかけて実施される。高卒程度については、一次試験が 9 月下旬、二次試験が 10 月中下旬に実施される。最終合格発表は、11 月の予定となっている。

② 野口教職員課長は令和 9 年度佐賀県公立学校教員採用選考試験（秋選考）について、資料に基づき次のとおり報告した。

(野口教職員課長)

資料 2-1 をご覧いただきたい。令和 9 年度佐賀県公立学校教員採用選考試験（秋選考）について説明する。教員採用選考試験（秋選考）を、11 月 14 日（土）・15 日（日）に、佐賀工業高校にて実施する。秋選考では、1（1）記載のとおり、一般選考と 3 つの特別選考、そして、今年度からチャレンジ受験を実施する。チャレンジ受験は、小学校教諭等で実施し、短大 1 年生も受験可能としている。

試験区分、採用予定者数については 2 をご覧いただきたい。一般選考は、小学校教諭等、中学校教諭等、高等学校教諭等で実施し、実施教科および採用予定者数は、表に示しているとおりである。

資料 2-2 をご覧いただきたい。さが UJI ターン特別選考は、現職教員および民間企業

等職員を対象に実施する。試験区分、実施教科は表に示しているとおりである。社会人特別選考については、中学校教諭等、高等学校教諭等で実施する。実施教科は、表に示しているとおりである。英語スペシャリスト特別選考は、中学校教諭等で実施する。

(5) のチャレンジ受験で合格した場合は、令和 9 年度実施の令和 10 年度教員採用選考試験において、一次試験が免除となる。小学校教諭等の採用予定者数は、来年度実施する令和 10 年度教員採用選考試験の実施要項に掲載する。

受験申込み・受付は、原則、電子申請で、9 月 28 日（月）～10 月 19 日（金）の期間で受け付ける。実施要項等については、ホームページに掲載するとともに、4 (2) に示している場所においても配布している。また、全国の各大学にも送付し、学生への周知をお願いしている。合格発表は、12 月 4 日（金）の予定である。また、秋選考に関するオンライン説明会を、9 月 18 日（金）18 時から実施予定としている。

【主な質問等】

（溝上委員）

たくさん集まるように祈っている。

（飯盛（裕）委員）

チャレンジ受験は昨年度から実施し始めたのか。秋選考ではなくて、通常の試験のときのことである。また、受験者数は増えているのか。

（野口教職員課長）

短大生のチャレンジ受験をするのは今回初めてである。チャレンジ受験そのものは令和 6 年度から実施している。また、受験者数は増えている。初年度は、申込者数は 144 人、次の年が 171 人、今年度実施した分では 275 人である。

（飯盛（裕）委員）

周知がしっかりされていて、やはり早めに受けておこうっていう生徒が多くなっている。

（甲斐教育長）

チャレンジ受験で合格すると学科試験が免除となり、面接からスタートすることになる。短大の 1 年生は通常の採用試験のときは入学後間もないため、試験を受けるには早すぎるので、秋選考でチャレンジ受験を実施する。

③ 柿原保健体育課長は令和 8 年度全九州高等学校体育大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

（柿原保健体育課長）

資料 3-1、令和 8 年度全九州高等学校体育大会（結果）について団体の表をご覧ください。表の上部に掲載のとおり、左から、順位、競技、種別、学校名となる。太線で四角囲みの学校については、昨年度に引き続き優勝している。また、網掛けの白石高校が体操女子団体に初優勝している。なお、このほか 3 位までに入賞している団体が 17 団体ある。

続いて、資料 3-2、令和 8 年度全九州高等学校体育大会結果について、個人 NO.1 の表

をご覧ください。表の左側に記載のとおり、このページは全て優勝者になる。競技は、陸上競技からフェンシングまでの 13 競技で、延べ 37 名の個人とリレーで陸上の龍谷高校と競泳の佐賀商業の 2 チームが優勝している。なお、連覇している生徒については、太線で四角囲みしている。

続いて、資料 3-3、NO.2 の表をご覧ください。表の左側に記載のとおり、このページは全て 2 位になる。競技は、陸上競技から空手道までの 11 競技で、延べ 26 名の個人とリレーで競泳の佐賀商業の 1 チームが 2 位となっている。

続いて、資料 3-4、NO.3 の表をご覧ください。表の左側に記載のとおり、このページは全て 3 位になる。競技は、上の方から陸上競技から少林寺拳法までの 15 競技で、延べ 38 名の個人が 3 位となっている。報 3 については以上である。

【主な質問等】

（飯盛（裕）委員）

資料 3-1 記載の体操で、以前鳥栖高校にいた龍先生が、白石町にクラブを立ち上げられていて、その結果が影響しているのか。

（柿原保健体育課長）

そのとおりである。今、龍先生が体操の指導をされている。

（飯盛（裕）委員）

高校の方にも入っているのか。

（柿原保健体育課長）

高校の方には入っていない。ドラゴーンイングスポーツという会社を立ち上げられて、そのジムの中で子どもたちの練習を見ている。

（飯盛（裕）委員）

指導者が入るとすごく成績にも出てくる。

（柿原保健体育課長）

早速、九州大会優勝された。

（飯盛（裕）委員）

先日、佐賀新聞の 1 面にカヌーの花岡ゆららさんが掲載されていて、当園の保護者のお子さんも神埼高校で、彼女は全国レベルだと話していた。SSP 構想がすごく成果を出している一例と思う。

（柿原保健体育課長）

花岡選手は連覇及び 2 冠である。

（飯盛（清）委員）

感想であるが、監督の学校ではないところで優秀な成績が増えてきたと感じる。

（柿原保健体育課長）

SSP の様々な支援もあり、非常に選手達も充実した環境の中で練習ができている。

④ 柿原保健体育課長は令和 8 年度佐賀県中学校総合体育大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

(柿原保健体育課長)

資料 4-1、令和 8 年度第 63 回佐賀県中学校総合体育大会成績一覧の団体について表をご覧ください。表の上部に掲載のとおり、左から、競技、男子の成績、女子の成績となる。太線で四角囲みしているのとおり、多くの競技で連覇が目立つ中、網掛けしているのとおり、男子で 5 競技、女子で 6 競技、初優勝が生まれた。

続いて、資料 4-2、令和 8 年度第 63 回佐賀県中学校総合体育大会成績一覧の個人 NO. 1 の表をご覧ください。上から、空手道、テニス、バドミントン、体操、新体操の個人男女の成績を掲載している。なお、連覇している生徒については、太線で四角囲みしている。

続いて、資料 4-3、個人 NO. 2 の表をご覧ください。上から、競泳、飛込の男女の成績を掲載している。なお、連覇している生徒については、太線で四角囲みしている。

続いて、資料 4-4、個人 NO. 3 の表をご覧ください。陸上競技の男女の成績となる。なお、連覇しているチーム・生徒については、太線で四角囲みしている。

続いて、資料 4-5、個人 NO. 4 の表をご覧ください。上から、ソフトテニス、卓球、柔道、剣道、相撲の成績となる。ここでは連覇の該当はない。報 4 については以上である。

⑤ 柿原保健体育課長は令和 8 年度第 108 回全国高等学校野球選手権佐賀大会結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(柿原保健体育課長)

資料 5-1、第 108 回全国高等学校野球選手権佐賀大会勝ち上がり表をご覧ください。表の上部に記載のとおり、決勝戦は、第 1 シードの佐賀商業高校と昨年度準優勝校の北陵高校との対戦となり、佐賀商業高校が北陵高校を 4 対 1 で破り、8 年ぶり 17 回目の甲子園出場を果たした。なお、資料には記載していないが、甲子園では 2 回戦、佐賀商業高校は千葉県代表の拓大紅陵高校と対戦しましたが、0 対 1 で惜しくも敗れた。保健体育課からの報告は以上である。

⑥ 本多教育総務課長は、次回定例教育委員会について、次のとおり報告した。

(本多教育総務課長)

次回定例教育委員会は、9 月 24 日木曜日 14 時 00 分から開催する予定としている。委員の出席をお願いしたい。

(5) 議事

【付第 14 号議案】

県議会に提出する教育関係議案に対する意見について

このことについて、議案書により本多教育総務課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 15 号議案】

令和 7 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書について

このことについて、議案書により本多教育総務課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 16 号議案】

いじめの重大事態の調査報告書（答申）を踏まえた教育委員会の対応について

このことについて、議案書により高山生徒支援室長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(6) 事務局報告

① 前山政策企画監は高等学校等教育改革促進事業について、資料に基づき報告した。

② 高山生徒支援室長は県立学校におけるいじめの重大事態の発生について、資料に基づき報告した。

(7) 閉 会 15 時 27 分

令和8年9月定例教育委員会資料

(令和8年9月24日)

報告事項

【公開】

佐賀県教育委員会

令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験の結果について

令和8年9月4日に合格者発表を行った標記選考試験の結果について、下記のとおり、その概要をお知らせします。

記

1 試験区分別 合格者数・最終倍率 (単位：人・倍)

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	栄養教諭	合計
合格者数	169 (157)	106 (89)	54 (54)	36 (33)	6 (9)	— —	371 (342)
最終倍率	1.2 (1.1)	1.7 (1.7)	3.6 (3.6)	2.0 (1.7)	18.8 (10.4)	— —	2.1 (2.0)

※ () 内は前年度の合格者数、最終倍率

※最終倍率は、一次試験受験者数／合格者数

※昨年度同時期比としているため、秋選考実績は含まない。

2 中学校教科別 合格者数 (単位：人)

国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	合計
18	20	18	11	17	7	3	8	3	1	106

3 高等学校教科・科目別 合格者数 (単位：人)

国語	日本史	世界史	地理	数学	物理	化学	生物	英語	音楽	美術
7	1	1	2	6	1	2	2	6	1	4
保健体育	家庭	情報	農業	機械	電気	土木	セラミック	商業	合計	
4	3	2	2	2	1	0	2	5	54	

4 特別支援学校・学部別 合格者数 (単位：人)

小学部	中学部	高等部	合計
11	13	12	36

【参 考】

- 1 令和9年度佐賀県公立学校教員採用選考試験申込者数及び一次・二次試験受験者数等
(単位：人)

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	合 計
申込者数	217 (180)	191 (161)	210 (205)	75 (60)	118 (100)	811 (706)
一次試験 受験者数	205 (171)	177 (155)	195 (196)	72 (57)	113 (94)	762 (673)
二次試験 受験者数	181 (164)	117 (109)	107 (93)	51 (45)	13 (16)	469 (427)

※ () 内は前年度の申込者数、一次試験受験者数、二次試験受験者数

※昨年度同時期比としているため、秋選考実績は含まない。

- 2 特別選考等について

(単位：人)

選考区分	申込者数	合格者数
障害者特別選考	4 (2)	1 (2)
社会人特別選考	7 (4)	4 (3)
スポーツ・芸術特別選考	1 (0)	1 (0)
小学校特別選考 (英語)	0 (2)	0 (2)
小学校特別選考 (算数)	0 (0)	0 (0)
小学校特別選考 (理科)	2 (2)	1 (1)
小学校特別選考 (特別支援教育)	0 (1)	0 (1)
さが UJI ターン特別選考	13 (14)	11 (13)
さが離島特別選考	29 (21)	4 (2)

※ () 内は前年度の申込者数、合格者

- 3 その他

○ 合格者 371 人のうち、大学院等進学希望者及び大学院等在籍者の特例申請による合格者は 18 人（前年度 19 人）であった。

○ 合格者の平均年齢は 27.6 歳（前年度 26.9 歳）であり、最高年齢は 59 歳（前年度 59 歳）であった。

○ チャレンジ受験での合格者数は 104 人であった。

※チャレンジ受験とは

大学 3 年生等で、佐賀県公立学校教員採用選考試験の一次試験を受験し、合格した場合は翌年度に、二次試験から受験できる制度。

○ 合格者の受験番号については、県庁掲示板に掲示するとともに、県のホームページにも掲載している。

第36回全国産業教育フェア佐賀大会 各種競技大会 佐賀県代表校について

1 全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト

10月24日（土）9:30～（競技開始 11:00）SAGA アリーナサブアリーナ

- 各県の代表がフラワーデザインに関する知識と技能を活用し、創造性や芸術性を競う。当日支給された花材でテーマに基づいた作品を制作。

佐賀県代表

- ・高志館高校（3年生 武藤 日香里 むとう ひかり）
（2年生 中村 明日香 なかむら あすか）
- ・唐津南高校（3年生 吉田 千華 よしだ ちはな）
（3年生 佐々木 和泉 ささき いずみ）
- ・伊万里実業高校（3年生 松見 海羽 まつみ みう）

2 全国高等学校ロボット競技大会

10月25日（日）9:00～（競技開始 9:15）SAGA プラザ大競技場

- 3分間の競技時間内に自作の操作型ロボットと自立型ロボットで、各種アイテムを指定された位置に移動させ、得点を競う。

佐賀県代表校

- ・佐賀工業高校 A チーム名：「はがくれ」
- ・佐賀工業高校 C チーム名：「かささぎ」
- ・嬉野高校 A チーム名：「嬉野 TRY」
- ・鳥栖工業高校 B チーム名：「スースースー」

3 全国高校生クッキングコンテスト

10月25日（日）9:00～（競技開始 11:00）佐賀女子高等学校

- 「佐賀県産海苔」、「各郷土の特産品」をテーマ食材として作ったおもてなしランチで調理の知識と技術を競う。

佐賀県代表校

- ・牛津高校

4 全国高校生介護技術コンテスト

10月25日（日）9:30 競技開始 SAGA アリーナサブアリーナ

- 課題に沿った介護の実技とそのエビデンスについて発表し、適切で安全な支援の技術を競う。

佐賀県代表校

- ・ 神埼清明高校
- ・ 嬉野高校

5 全国高校生ビジネスアイデアコンクール

10月25日（日）9:20 競技開始 ミズウェルビーホール

- 全国の専門高校生が、様々な社会課題を解決するためのビジネスアイデアを提案。

佐賀県代表校

- ・ 伊万里実業高校
- ・ 佐賀商業高校

6 全国高校生D I 選手権大会

10月25日（日）9:30 競技開始 SAGA アリーナメインステージ

- 標準語と方言を変換する AI の精度や活用方法を競う「育てる!!AI 方言コンテスト」と半導体回路設計に関する技術を競う「サーキットデザインコンテスト」を実施。

佐賀県代表校（SEIRENKATA 受講生）

【育てる!!AI 方言コンテスト】

- ・ 唐津南高校 ・ 佐賀清和高校

【サーキットデザインコンテスト】

●CIRCUIT DESIGNER でタイムアタック

佐賀商 加久 敦希（かく あつき） 佐賀工 山下 隼矢（やました しゅんや）
佐賀工 實松 那純（さねまつ とあ）佐賀工 福田 光記（ふくだ こうき）
佐賀西 嘉村 有（かむら ゆう） 佐賀西 本弓 湊（ほんきゅう みなと）

●インバーター回路設計コンテスト

佐賀商 加久 敦希（かく あつき） 佐賀工 山下 隼矢（やました しゅんや）
佐賀清和 小松 愛怜（こまつ あれん）佐賀西 野口 周造（のぐち しゅうぞう）
武雄 山口 由理香（やまぐち ゆりか）佐賀西 嘉村 有（かむら ゆう）
佐賀西 本弓 湊（ほんきゅう みなと）龍谷 吉川 太馳（よしかわ たいち）

令和8年度九州中学校体育大会結果【 団体 】

成績	競技	性別	所属
優勝	新体操	男子	神埼ジュニア新体操クラブ
	相撲	男子	からつ相撲クラブ
2 位	体操	女子	白石中学校 1
	ソフトテニス	女子	桜S. T. C (小城市) 2
	剣道	男子	北茂安中学校 3
	テニス	男子	附属中学校 4
3 位	バスケットボール	男子	江北中学校 5
			城北中学校 6
	サッカー	男子	REVIVAL Agora (大町町) 7
	軟式野球	男子	西有田中学校 (扨) (西有田中・有田中) 8
	体操	女子	鳥栖中学校 9
	剣道	男子	神埼中学校 10
			大和中学校 11
	相撲	男子	佐志相撲クラブ 12

※【 補足 】



は連覇、



は初優勝の学校

(扨) は扨点校部活動

令和8年度九州中学校体育大会結果【 個人 】

成績	競技	性別	種目	氏名	所属
優勝	新 体 操	男	クラブ 1	中島 琉唯	佐賀ジュニア新体操クラブ
	柔道	男	66kg級 2	浅田 琥太郎	有田警心館
	剣道	男	個人戦 3	渡辺 美礼	北茂安中学校
		女	個人戦 4	桑水流 明子	神埼中学校(拠)(神埼中・脊振中)

成績	競技	性別	種目	氏名	所属
2 位	陸 上 競 技	男	低学年4×100m R 1	①白石アスリートクラブ	
		女	3年800m 2	大草 美幸	相知ランニングクラブ
	体操	女	跳馬 3	桑原 瑠里	香楠中学校
			跳馬 4	川畑 有未	白石中学校
			ゆか 5	川畑 有未	白石中学校
	新体操	女	個人総合 6	木原 夢乃	PopCandy新体操クラブ (佐賀市)
			ボール 7	木原 夢乃	
	柔道	男	60kg級 8	久保 翔太朗	昭栄中学校
		女	40kg級 9	江口 咲羽	牛津中学校
			57kg級 10	西田 結衣	昭栄中学校
	剣道	男	個人戦 11	益田 隼希	北茂安中学校

成績	競技	性別	種目	氏名	所属
3位	陸 上 競 技	男	1年100m 12	久原 瑛大	白石アスリートクラブ
			3年100m 13	牟田 充希	鳥栖西中学校
			2年1500m 14	大塚 陽太	城西中学校
		女	共通4×100m R 15	①ATHLETE LINK	
	体操	男	ゆか 16	中願寺 亜佑沙	鳥栖中学校
			跳馬 17	中願寺 亜佑沙	鳥栖中学校
		女	個人総合 18	川畑 有未	白石中学校
			平均台 19	豊福 美空	鳥栖中学校
	新体操	男	個人総合 20	中島 琉唯	佐賀ジュニア新体操クラブ
	卓球	女	シスingles 21	福田 陽菜	山代中学校
	バドミントン	男	ダブルス 22	川上・嶺川	多久スポーツピア
	柔道	男	55kg級 23	茶圓 壽徠	昭栄中学校
			73kg級 24	西澤 孝太郎	有田警心館
		女	44kg級 25	増山 にこ	多良中学校(拠)(多良中・大浦中)
			48kg級 26	奥村 桃子	昭栄中学校
			63kg級 27	村尾 優月	有田警心館
			70kg級 28	一木 蘭	有田警心館
			70kg超級 29	本村 ちなみ	昭栄中学校
			70kg超級 30	渡瀬 なみ	鍋島中学校
	剣道	男	個人戦 31	江崎 匠	北茂安中学校
	空手道	男	組手 32	坂口 駿太	江北空手道クラブ

※【 補足 】 (拠) は拠点校部活動

令和8年度全国中学校体育大会結果【 団体 】

成績	競技	性別	所属
3位	ソフトテニス	女子	桜S.T.C(小城市)

令和8年度全国中学校体育大会結果【 個人 】

成績	競技	性別	種目	氏名	所属
2位	柔道	男	60kg級	久保 翔太郎	昭栄中学校

令和8年度 全国高等学校総合体育大会結果

【団体】

成績	競技	種別	学校	備考
優勝	少林寺拳法	女子団体	武雄高校	初優勝
2位	新体操	男子団体	神埼清明高校	
3位	ソフトボール	女子	佐賀女子高校	
	柔道	女子団体	佐賀商業高校	
	なぎなた	団体試合	佐賀東高校	
	少林寺拳法	男子団体	武雄高校	

【個人】

成績	競技	種別	選手	所属	備考
優勝	カヌー (カヤックシングル)	女子200m	花岡 ゆらら	神埼	2年連続 2冠
		女子500m			
	ボクシング	男子ライト級	秋山 一真	高志館	
	なぎなた	個人試合	坂田 はなみ	佐賀東	
2位	バドミントン	女子シングルス 1	永渕 友梨華	佐賀女子	
	なぎなた	演技競技 2	外村 樹蘭	佐賀東	
			田中 日菜俐		
	水泳(飛込)	男子飛板飛込 3	北村 応吏	致遠館	
3位	レスリング	男子個人60kg級 4	横田 大和	鳥栖工	
	陸上	男子5000mW 5	林 昊也	鳥栖工	
	バドミントン	女子ダブルス 6	永渕 友梨華	佐賀女子	
			西川 楓		
	少林寺拳法	女子組演武 7	苫原 夕貴	武雄	
			大久保 媛莉		
	柔道	女子個人70kg級 8	田中 ひかり	佐賀商	
		女子個人78kg級 9	藤本 春栞	佐賀商	

※【 補足 】 は連覇、 は初優勝の学校

令和8年度 全国高等学校定時制通信制体育大会結果

成績	競技	種別	選手	所属
優勝	陸上競技	女子砲丸投	大川内 優希	敬徳高 通信制
3位	柔道	女子63kg級	山口 真桜	佐賀北 通信制

SAGA BUKATSU PROJECT 全国大会（スポーツ）

上位入賞者等知事報告会成績一覧

令和8年9月定例教育委員会
事務局報告事項 保健体育課

	順位	種別	氏名	所属・学年	備考
国際大会					
レスリングU17アジア 選手権大会(開催地：ベトナム)	3位	フリースタイル 92kg級	1 よしだ 修	鳥栖工業高校 2年	
レスリングU15アジア 選手権大会(開催地：タイ)	優勝	グレコローマン 68kg級	2 きんじょう ゆきはる 金城 幸悠	鳥栖工業高校 1年	
	2位	グレコローマン 44kg級	3 えぞえ いっさ 江添 一颯	鳥栖レスリングクラブ 鳥栖中 2年	
	3位	フリースタイル 62kg級	4 よしなり だいもん 吉成 大門	鳥栖工業高校 1年	
令和8年度全国高等学校総合体育大会					
少林寺拳法	優勝	女子団体	武雄高校		初優勝
	3位	男子団体	武雄高校		
	3位	女子組演武	1 とまはら ゆうき 苦原 夕貴	武雄高校 3年	
			2 おおくぼ めぐり 大久保 媛莉	武雄高校 3年	
新体操	2位	男子団体	神埼清明高校		
柔道	3位	女子団体	佐賀商業高校		
	3位	女子個人 70kg級	3 たなか ひかり 田中 ひかり	佐賀商業高校 1年	
	3位	女子個人 78kg級	4 ふじもと はるか 藤本 春菜	佐賀商業高校 3年	
ソフトボール	3位	女子	佐賀女子高校		
なぎなた	3位	団体試合	佐賀東高校		
	優勝	個人試合	5 さかた はなみ 坂田 はなみ	佐賀東高校 3年	
	2位	演技競技	6 ほかわら じゅらん 外村 樹蘭	佐賀東高校 3年	
			7 たなか ひまり 田中 日菜例	佐賀東高校 3年	
カヌー	優勝	女子カヤック シングル200m	8 はなおか ゆらら 花岡 ゆらら	神埼高校 2年	2年連続 2冠
	優勝	女子カヤック シングル500m	9		
ボクシング	優勝	男子ライト級	10 あきやま かずま 秋山 一真	高志館高校 3年	
水泳（飛込）	2位	男子3m 飛板飛込	11 きたむら おうり 北村 応史	佐賀ダイビングクラブ 致遠館高校 1年	
バドミントン	2位	女子シングルス	12 ながふち ゆりか 永渕 友梨華	佐賀女子高校 3年	
	3位	女子ダブルス	13 ながふち ゆりか 永渕 友梨華	佐賀女子高校 3年	
			14 にしかわ かえで 西川 楓	佐賀女子高校 3年	
レスリング	3位	男子個人 60kg級	15 よこた やまと 横田 大和	鳥栖工業高校 3年	
陸上競技	3位	男子5000m W	16 はやし こうや 林 昊也	鳥栖工業高校 3年	
陸上競技（定時制・通信制）	優勝	女子砲丸投	17 おおかわち ゆき 大川内 優希	敬徳高校通信制3年	
柔道（定時制・通信制）	3位	女子63kg級	18 やまぐち まお 山口 真桜	佐賀北高校通信制2年	
令和8年度全国中学校体育大会					
ソフトテニス	3位	女子団体	桜S.T.C		
柔道	2位	男子60kg級	1 くぼ しょうたろう 久保 翔太郎	昭栄中学校 3年	

※【 補足 】 は団体入賞

	順位	種別	氏名	所属・学年	備考
全国大会（高校）					
金鷲旗高校柔道大会	2位	女子団体	佐賀商業高校		
第55回ゴーセン杯争奪 ハイスクールジャパンカップ ソフトテニス2026	3位	男子シングルス	1 まつお こうき 松尾 航希	嬉野高校 3年	
	3位	男子ダブルス	2 まつお こうき 松尾 航希	嬉野高校 3年	
			3 おがわ こうすけ 小川 晃典	嬉野高校 3年	
JOCジュニア オリンピックカップ レスリング競技	優勝	グレコローマン 51kg級(U17)	4 さとう えいと 佐藤 瑛人	鳥栖工業高校 2年	
	優勝	フリースタイル 92kg級(U17)	5 よしだ しゅう 吉田 修	鳥栖工業高校 2年	
	2位	フリースタイル 71kg級(U17)	6 さかい ぜん 酒井 禅	鳥栖工業高校 2年	
	3位	グレコローマン 63kg級(U20)	7 ふじせ かい 藤瀬 夏唯	鳥栖工業高校 3年	
	3位	グレコローマン 55kg級(U17)	8 にしむら らいき 西村 徠希	鳥栖工業高校 3年	
	3位	フリースタイル 55kg級(U17)	9 みたに えいしん 三谷 栄心	鳥栖工業高校 1年	
	3位	フリースタイル 60kg級(U17)	10 よしなり だいもん 吉成 大門	鳥栖工業高校 1年	
第42回全国高校生 グレコローマンスタイル レスリング選手権大会	優勝	グレコローマン 71kg級	11 きんじょう ゆきはる 金城 幸悠	鳥栖工業高校 1年	
	2位	グレコローマン 71kg級	12 さかい ぜん 酒井 禅	鳥栖工業高校 2年	
	3位	グレコローマン 51kg級	13 さとう えいと 佐藤 瑛人	鳥栖工業高校 2年	
	3位	グレコローマン 65kg級	14 おおやま るいじ 大山 瑩児	鳥栖工業高校 1年	
	3位	グレコローマン 80kg級	15 たかはし れおん 高橋 礼恩	鳥栖工業高校 3年	
	3位	グレコローマン 92kg級	16 よしだ しゅう 吉田 修	鳥栖工業高校 2年	
第19回全日本ジュニア テコンドー選手権大会	優勝	高校生 男子 -59kg級	17 おかもと かい 岡本 佳依	テコンドークラブ Hama House	
	優勝	高校生 女子 -42kg級	18 もり わかこ 森 和華子	基山支部 福岡県立香椎高校1年	
	2位	高校生 女子 -52kg級	19 のうどみ はるか 納富 悠	本部道場 小城高校 3年	
	2位	高校生 女子 -46kg級	20 おかもと ちか 岡本 千佳	テコンドークラブ Hama House	
	3位	高校生 男子 -68kg級	21 きのした れいく 木下 嶺空	本部道場 柳川高校 3年	
	3位	高校生 女子 -59kg級	22 いまいずみ ひかり 今泉 日花理	本部道場 龍谷高校 1年	
第49回全国JOCジュニア オリンピック 飛込競技	3位	男子3m 飛板飛込	23 きたむら おうり 北村 応史	佐賀ダイビングクラブ 致遠館高校 1年	
全国大会（中学）					
カラテドリームフェスティバル 2026国際大会	優勝	中学3年生 男子中量級	1 よねだ そうし 米田 壮志	新極真会佐賀筑後支部 三日月中3年	
第52回全国中学生 レスリング選手権大会	優勝	グレコローマン 85kg級	2 ふなこし みりゅう 船越 海瑠	鳥栖レスリングクラブ 鳥栖中 3年	
	2位	グレコローマン 48kg級	3 えぞえ いっさ 江添 一颯	鳥栖レスリングクラブ 鳥栖中 2年	
全日本UJボクシング 王座決定戦	優勝	中学男子 51kg級	4 あきやま ひろと 秋山 大空	吉永ボクシングジム 城北中 3年	
	優勝	中学女子 48kg級	5 よしなが ありさ 吉永 有咲	吉永ボクシングジム 城北中 3年	
第19回全日本ジュニア テコンドー選手権大会	2位	中学生 男子 -45kg級	6 すきまち よしと 杉町 嘉斗	本部道場 昭栄中 2年	
	2位	中学生 女子 -51kg級	7 きのした いろは 木下 彩芭	本部道場 川副中 2年	
	2位	中学生 女子 -47kg級	8 かわしま すずは 川島 涼羽	鹿島道場 東部中 3年	
	3位	中学生 男子 +61kg級	9 おの しょうたろう 小野 彰太郎	テコンドークラブ Hama House	
	3位	中学生 女子 -41kg級	10 とおだ みはな 遠田 美花	古賀道場 鍋島中 3年	

※【 補足 】 は団体入賞